

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成30年 2月 2日 更新

事務事業名	アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	政策部	課長名 工藤一伸
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	政策課	担当者名 渡辺紀子
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供		所属班	政策班	(内線) 1236
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11544	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑤
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市の賑わい創出や市外へのPRを目的に、アニメ・マンガ・映像等を活用したイベントを実施し、市と縁(ゆかり)のある漫画家やアニメクリエイターとのつながりを深め協力体制を築くとともに、アニメ・マンガコンテンツに関するまちづくりやNPO団体等の協力を得て、市の資源を活かした地域CMや歴史漫画の制作等を通じて市内、市外に向けてPRを行う。その結果として、本市がアニメ・マンガ等の制作に取り組みやすいまちであることを知ってもらい、コンテンツ産業の誘致に向けた足がかりをつくる事業である。 ・これまでの取組の結果、集積したマンガの蔵書を活かし、市民が気軽にマンガに親しめる憩いの空間を創造し、熊本県内外に発信できる観光拠点として、「(仮称)こうしマンガミュージアム」(パーク)を整備し活用する事業に取り組む。 ・くまもとメディアコンテンツコミッション(MCC)協議会に参画し、コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議を行う。また、メディアコンテンツを活用した地域の情報発信、観光振興事業を行う。
【業務の流れ】	①西合志郷土資料館の収蔵物の移転及びスケルトン化 ②(仮称)こうしマンガミュージアム(パーク)の改修及び整備 ③主に都市圏の企業訪問 ④くまもとMCC協議会への負担金の支出、会議への出席、イベントへの参加
【主な予算費目】	・旅費 ・委託料 ・負担金補助及び交付金(※くまもとMCC協議会規約に基づく)
【意見や要望】	・漫画やアニメ等を活用した事業は、求めた声がある。 ・この事業は、他の自治体ではあまり取り組まれていなく、将来の市の発展に効果があると思う。 ・コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	・西合志郷土資料館の収蔵物スケルトン化を行い、合志歴史資料館等に搬出した。 ・まずワークショップを行い施設のあり方について検討した。その結果をふまえて設計をし、マンガ関連施設の整備及び改修を行った。ロゴマークのデザイン制作も行い、それを利用した施設案内看板の貼り替えを行った。 ・くまもとMCC(メディアコンテンツ・コミッション)協議会への参画により、イベントへの参加や、メディア関連企業との連携事業等を行った。	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・整備及び改修が完了した「合志マンガミュージアム」に、マンガ資料の搬入及び配架を行う。また、施設内外の案内パネルやパンフレット等の印刷物、館内BGM等を作成し、開館の準備をする。また、開館後の施設運営について委託業務を行う。 ・くまもとMCC協議会への負担金の支出、会議への出席、イベントへの参加
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 協議を行った回数	回	合志マンガミュージアム整備事業が完了したことによる委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 回
		→ ア: アニメ等関連事業をHPに掲載した件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	賑わいのあるまちづくりに取り組む	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 回
		→ ア: HPを閲覧された回数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
①活動指標	ア	回	20	20	30	30	30	30	30	30	
	イ										
②対象指標	ア	回	4	4	30	31	30	30	30	30	
	イ										
③成果指標	ア	回	60,591	59,982	90,000	107,222	95,000	100,000	100,000	100,000	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円					2,500			
		都道府県支出金	千円			10,000	12,049				
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	2,733	620	16,626	14,526	3,996	2,000	2,000	2,000
	(A)事業費計	千円	2,733	620	26,626	26,575	6,496	2,000	2,000	2,000	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	1,910	2,000	1,000	2,220	1,000	1,000	1,000		
	(B)人件費計	千円	7,609	0	3,984	8,296	3,984	3,984	3,984		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,342	620	30,610	34,871	10,480	5,984	5,984	5,984	

事務事業名	アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 西合志郷土資料館を利活用し、合志マンガミュージアムへ整備・改修することができた。また、コンテンツ企業と連携し様々なイベントを開催・参加することができた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 合志マンガミュージアム開館に向け、マンガ資料の整備・配架や案内パネル・印刷物の作成等を行っていく。また、開館後も施設を運営するためにはどうしたらよいか、有識者や関係団体の協力を仰ぎながら図っていく。くまもとMCC協議会事業については、今後もコンテンツ企業と連携し更なる発展に努めたい。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 漫画・アニメを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の予算で執行しているため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一部の受益者を対象とした取組みではないので、公平性は保たれる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 漫画・アニメ文化による賑わいのあるまちづくりに市が努めることには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

アニメを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたれると思われるが、出版社等の著作権関係で協力を得てもらうことが非常に難しい。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策